

「楽しませてくださる神」

「この世で富んでいる人々に命じなさい。高ぶることなく、不確かな富に望みを置くのではなく、私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませてくださる神に望みを置くように。」
(テモテへの手紙一 第６章１７節・新約聖書３８１頁)

はじめに

パウロが晩年に弟子のテモテに宛て送った手紙から、前回は「良い奉仕者になりなさい」との言葉を取り上げました。これはテモテだけではなく、私たちに向けてのパウロの勧めでもあります。さて今回は、テモテが任されている信徒たちの様子を記した言葉を取り上げ、特に貧富に対する信仰者の心構えを確認したいと思います。

教会の問題

冒頭部分でわかるように、パウロは自分の代わりにエフェソにとどまって指導するようにとテモテに命じていました。使徒言行録にも詳しく書かれているように、エフェソはアルテミスの大神殿を中心にできた宗教都市で、多くの人たちが巡礼者を対象とした観光で生計を立てていました。大きな港東西を結ぶ交通の要衝でもあったことから様々な民族、また階層の人々が暮らす大都市でもありました。

そのような町に建てられた教会ですから、それらの問題も教会内に持ち込まれてきていたわけです。特に貧富の格差は激しかったようで、2章でも高価な装飾品について取り上げられるなど、当時の状況がわかります。

富の管理

聖書では富を罪悪として考えておらず、また商売をし、利益をあげることも否定していません。ただし、ここで「高ぶるな」とあるのは、富んだ人がその富ゆえに他の人を低く見たり、成功者だと思ったりすることを戒めているのです。富は人間の価値を決めるものではありません。富をもって自分の好き勝手にふるまい、他人をコントロールし、また横暴な態度をとる。富こそこの世のすべてを支配できる力であると勘違いしている人は、その人の人生を誤らせてしまいます。そこでパウロはそのことを警告するために「不確かな富に望みを置くな」と注意を促したのでした。

神に望みを置く

主イエスは「宝のあるところにあなたの心もある。神と富とに仕えることはできない」(マタイ 6:24) と言われました。富は不確かなもの、つまり突然失われることもあるものです。しかも、絶えず変動することで、いつの間にか富に心を奪われ、隷属する生活を送るようになります。しかし、神に望みを置くならば、「すべての物を豊かに与えて楽しませてくださる」。神が私たちの必要をご存じで、常に満足させてくださるのだと語っています。そのことを確信することにより、富を有効に使うことができる道が示されていくわけです。多くの人たちに「喜んで分け与える」恵みは、「受けるよりも与えるほうが幸い」(使徒 20:35) とあるように、神の祝福をいただくことができ、同時にそれが私たちの未来に備えての土台となっていくのです。主イエスが言われた「天に宝を積む」とは、そのことです。神が楽しませてくださることを信じましょう。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のＱＲコードを読み取ってアクセスしてください。

今週の祈り

「この世で富んでいる人々に命じなさい。高ぶることなく、不確かな富に望みを置くのではなく、私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませてくださる神に望みを置くように。善を行い、良い行いに富み、物惜しみをせず、喜んで分け与えるように。真の命を得るために、未来に備えて自分のために良い土台を築き上げるように。」(テモテへの手紙一 6:17 ～ 19)



「宝は、天に積みなさい。そこでは、虫が食って損なうこともなく、盗人が忍び込んで盗み出すこともない。あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるのだ。」(マタイによる福音書 6:20 ～ 21)

「あなたがたもこのように労苦して弱い者を助けるように、また、主イエスご自身が『受けるよりは与えるほうが幸いである』と言われた言葉を思い出すようにと、私はいつも身をもって示してきました。」(使徒言行録 20:35)

すべての必要は神さまが満たしてくださることを信じます。また富に心を奪われるのではなく、かえって富によって人を喜ばせ、楽しませてくださる神さまを実感するようにさせてください。御名によって祈ります。アーメン

深読みにチャレンジ！

箴言（132）
第6章24～25節

＊三つの違う訳を読み比べてみましょう。
◎協会共同訳 「それはあなたを悪い女から 異国の女の滑らかな舌から守る。彼女の美しさを心の中で追い慕うな。そのまなざしに捕らわれるな。」
◎口語訳 「これは、あなたを守って、悪い女に近づかせず、みだらな女の、巧みな舌に惑わされぬようにする。彼女の麗しさを心に慕ってはならない、そのまぶたに捕えられてはならない。」
◎新改訳 「これはあなたを悪い女から守り、見知らぬ女のなめらかな舌から守る。彼女の美しさを心に慕うな。そのまぶたに捕らえられるな。」

「誘惑」

23節を受けての内容になっています。知恵を灯とし、光としていく。また良心の戒めや諭しを忘れずに歩むならば、誘惑の道へと落ちていかずにすむぞ、と言われているのですが、誘惑する方は手を替え品を替え攻撃してきます。

イソップ寓話に『北風と太陽』があります。ある日、北風と太陽が「あの旅人の上着をどちらが脱がすことができるか」勝負をすることになります。北風は強風を旅人に吹かせますが、よけいにしっかりと上着を押さえます。ところが太陽が暖かさをもたらすと旅人は上着を脱ぎ、太陽の勝ちとなる、という内容です。

人間、実は激しく、あからさまな攻撃を受けると、その防御姿勢がますます強固になります。ところが、温和な態度で接すると、自然に心を開いてしまうものです。「異国の女」については解説済みですが、正しい道からそらせようとする、その女の「滑らかな舌」がくせ者です。心を開いてしまい、その心をつかまれ、慕うようになり、言いなりになってしまう。美しく見えるその対象に「まなざし」を向けられ、ますます理性がなくなり、そうなるともはや防御する姿勢は崩れ、いつの間にか相手の言いなりになる。だから御言葉によって抵抗するのです。

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

1 父から子へ・受け継がれるべき知恵（1:1 ～ 9:18）
2 生活の処方箋・知っておくべき知恵（10:1 ～ 22:16）
3 先人からの知恵（22:17 ～ 31:31）
　a 知恵ある人の言葉（22:17 ～ 24:34）
　b ソロモンの言葉（25:1 ～ 29:27）
　c アグルの言葉（30:1 ～ 33）
　dレムエルの言葉（31:1 ～ 31）

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをすることはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも 15 分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方 (例)】

①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。

②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。

③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。

④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈祷課題」も祈る。

【月曜日】◆今週のすべての集会が祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

雅歌第8章7節「大水も愛を消し去ることはできません。洪水もそれを押し流すことはありません。愛を手に入れるために、家の財産をすべて差し出す者がいたとしても蔑まれるだけでしょう」◆雅歌の結論のような言葉だ。神の愛は、どのようなことがあっても変わらないし、神の愛にとらえられた私たちもまた、そうでなくてはならない。もし私たちが神の愛から目を背ける時があるとするなら、それは世の欲に誘われることによることだろう。私たちは告白すべきだ。「キリストにはかえられません。世のなにものも」。

●賛美／ 365 ●祈祷課題
◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

イザヤ書第1章1節「アモツの子イザヤが、ユダとエルサレムについて見た幻。ウジヤ、ヨタム、アハズ、ヒゼキヤがユダの王であった時代のことである。」◆イザヤ書は66章あり、メシヤ預言と呼ばれる後半が27章ある。つまり旧約39、新約27の聖書の構成そのものなのだ。章節をつけたのは13世紀になってからで、確立したのは16世紀になってから。だが、内容は変わっていないので、意図的に操作しようとしてもできない。つまり、神は当初から、すでに聖書66巻を決定され、イザヤ書にもその証拠を残されたのだ。イザヤのテーマは救い。まさに小聖書と言える。

●賛美／ 366 ●祈祷課題
◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、ＥＨＣ、ケズィック、太平洋放送協会、ＦＥＢＣ、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド･ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会 (聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】◆ 宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

イザヤ書第2章5節「ヤコブの家よ、さあ、主の光の中を歩もう」◆私たちはつとつと暗い道を歩ませられる時がある。今もそうかも知れない。だが詩編に、「夜はよもすがら泣きかなしんでも、朝と共に喜びが来る」(口語訳・詩 30:5) とあるように、その先に光があることを忘れてはならない。ヤコブはひとり荒れ野を旅していた。孤独に打ちひしがれていた時、「ここは神の家である」とのベテルの経験をした。夜だからこそ、臨在の経験、勝利の経験に導かれる。そして夜であっても、そこに「主の光」が差し込む。私たちはその光に向かって歩んでいけばよいのだ。

●賛美／ 367 ●祈祷課題
◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
◆宗教法人を取得できるように
◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

イザヤ書第3章21節「指輪、鼻輪、」◆この章でイザヤは、神以外のものを頼りにしていたら、それらはすべて取り去られるといって、占いと虚飾、特に女性の装飾品を一つひとつ示し、神以外のものに心を寄せる愚かさを指摘した。私の調べだが、聖書で一番短い節はこの節だ。口語訳も同じ6文字。「イエスは涙を流された」（ヨハネ 11:35）は英語聖書のことであり、ちゃんと日本語聖書を読んでいない人が言っている誤りだ。では長い節は。エステル 8:9 だ。口語訳では167文字だったが、協会共同訳では176文字に増えていた。ちょっとうれしい気分。

●賛美／ 368 ●祈祷課題
◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。
◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が 50 名以上となり、受洗者が年間 3 名以上与えられるように祈りましょう。

イザヤ書第4章2節「その日には、主の若枝は麗しく、光り輝く。地の実りは、イスラエルの生き残った者にとって誇りと栄誉となる」◆旧約聖書において「若枝」はエジプトの宰相になったヨセフを指す。だが、そのヨセフは救い主のひな型ともされており、おそらくここでは、救い主が現れた時の光栄を預言している。「イスラエルの生き残った者」とは、それまでイザヤが語ってきたように、神以外のものに頼る者が多い中、最後まで自分の身をきよくたもち、ただ神のみを礼拝してきた者をいう。その者たちこそが、神の光栄にあずかるのだ。

●賛美／ 369 ●祈祷課題
◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。
◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。
◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

イザヤ書第5章2節「彼は良いぶどうが実るのを待ち望んだ。しかし、実ったのは酸っぱいぶどうであった」◆「ぶどう畑の歌」と呼ばれている箇所だ。「神さまがせっかく畑を耕し、良いぶどうを植えたのに、実ったのは酸っぱい実だった」。イスラエルはそのようにたとえられ、様々な角度から、「災いあれ」と言われてしまっている。主イエスもまた、イスラエルを象徴するぶどうのたとえをもって、その不信仰を指摘したが、しかし、裁くのではなく、悔い改めを迫り、神の国は開かれているのだと説いた。私たちも悔い改めつつ、神の憐れみにすがっていきたい。

●賛美／ 370 ●祈祷課題
◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。
◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

イザヤ書第6章1節「ウジヤ王が死んだ年、私は高く上げられた玉座に主が座っておられるのを見た。その衣の裾は聖所を満たしていた」◆1999年4月、私の恩師である尾花晃師が召天された。私は私の導き手であり、とりなし手を失った大きさに、なかなか立ちあがれなかった。その時、思乃扶師がこの聖句を書き送ってくれ、励まされた。親類であり、2人3脚のように戦ってきたウジヤが死んだ時、イザヤは落ち込んだのだが、その時が神の取り扱いの時となった。「災いだ」と裁いていた自分こそが「災いだった」と知った時、真の召命を与えられたのだ。

●賛美／ 371 ●祈祷課題
◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。
◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。

おやこでせいしょ

●きょうのせいしょ

【ダニエルしょ　6:1～29】

「ゆめを といた ダニエル」

（ダニエルしょ　６：２３）

ベルシャツァルおうがしんだあと ダレイオスがおうさまになりました。このおうさまも ダニエルが よいはたらきをするので いつも じぶんの ちかくにおき いろいろなしごとを たのんでいました。しかし、それをみていた ほかのだいじんたちの いくにんかは こころが おだやかではありませんでした。ダニエルを うらやましいと おもっていた こころは、いつのまにか ダニエルを ころしてしまおうとの おもいに かわっていったのです。

そこで、おうさまに ひとつの ほうりつを ていあんしました。それは、「おうさまの すばらしさを みんなに しらせるために、いまから３０にちのあいだ、おうさまいがいの にんげんや、かみさまを おがんだり、いのったりしてはいけない　という ほうりつをつくりましょう。いはんしたものは ライオンの あなに なげこむことにします。」。ダレイオスおうは よろこびました。そして、すぐにそのほうりつを まもるようにと ぜんこくに つたえました。

でも、そのほうりつは ダニエルを ころすために つくられたものだったのです。ダニエルをにくむ だいじんたちは ダニエルが いつも エルサレムに むかって まどを あけて いのっている ことを しっていたのです。

でも、ダニエルは この ほうりつができたことを しっていたのに、かみさまに いのることを やめませんでした。だいじんたちは ダニエルを ライオンのあなに つきおとすことが できたのです。ダレイオスおうは じぶんのつくったほうりつで ダニエルが しけいになることをしりましたが、もうておくれです。

ところが、おうさまが あなにむかって、ダニエルを よぶと、ライオンは ダニエルを たべていませんでした。かみさまが ライオンからまもっておられたのです。

かみさまは しんじるわたしたちを、ダニエルのように まもってくださるのです。

●かんがえてみよう

☆だいじんたちは どんなほうりつを つくりましたか。(6:8)

☆ダニエルは そのほうりつが できたあと、おいのりを することを やめましたか。(6:11)

☆ほうりつを おかして ライオンの あなに なげこまれた ダニエルは、どうなりましたか。(8:23)



なみむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

いけるかみのしもべ

べ	る		け	し			み	
	も			る	み	べ	け	
の		み			い	か	し	る
し	か		い	べ		み		
み			も	の			か	け
る				け		い	べ	し
	い	る		か	べ	の	も	
		べ				し		
		の				け		

ことばあそび

今週の聖書箇所に関するクイズです。
ある法則で、左の数字は、右の文字をあらわしています。その法則を見つけだし、一番下の数字が、どんな文字になるか答えてください。

115555599 → いのり

15 → あな

33322211 → ？

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね







牧師の 聖書 ななめ読み

「靖国神社　４」

国の施設のようで、そうではない。しかし、それまでの慣例のように、靖国神社は特別な宗教施設となっていきました。

今、総理大臣を始め、国務大臣が公の立場で靖国神社に参拝すると、特に中国が異常なほどに反応を示します。これは「英霊」にまじって戦犯者が合祀されているからです。

ご存じのように戦後、日本が犯した戦争犯罪を裁くべく、東京裁判が開かれます。実は、犯罪はA級、B級、C級と分かれて審議されています。A級は平和を乱した罪が問われます。侵略戦争を計画し、それを準備、実行した国の最高指導者、軍の幹部が対象になりました。東京裁判(極東国際軍事裁判)で裁かれたのはこのA級にあたります。ちなみにB級は捕虜や民間人への暴行や殺害といった国際法に違反した人たち、C級は人種、政治、宗教などを理由に理不尽な迫害や虐殺といった人道に反する残虐な行為を行った人たちです。

１９５９年、B級とC級の戦犯者が、靖国神社に合祀されました。当時の宮司を始め神社の役員たちが「彼らは上官の命令に従って行ったに過ぎず、いわば犠牲者である」との認識を示し、決断をしたからでした。

聖書ふれあい街歩き

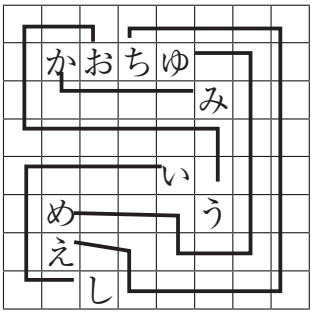
●カルケミシュ

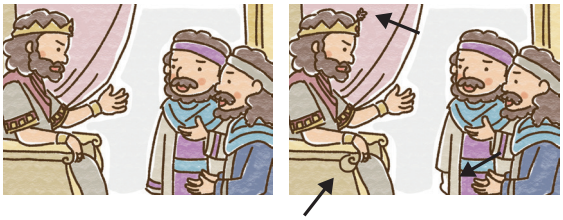
ユダの王ヨシヤの時代、エジプト王ネコがカルケミシュに向かいました。バビロンと戦うためです(列王下 23:29、歴代下 35:20 ～ 24)。カルケミシュは、現在のトルコ南部、シリアとの国境に近いユーフラテス川西岸にあった町で、大河ユーフラテス川を渡るための交通の要衝として古代から栄えていました。メソポタミアとエジプト・パレスチナを結ぶ主要な通路に位置していたのです。ネコはネブカドネツァルが率いる新バビロニア軍と激突するわけですが、首都であるニネベが陥落し、窮地に陥っているアッシリアを支援するためだったと考えられています。同盟を結んでいたのではなく、ここでバビロンを押さえなければ、エジプトにも侵略してくるのではないかと考えたからでしょう。アッシリアを盾として残し、自国エジプトを救うためです。ところが、紀元前 605 年、カルケミシュの戦いと呼ばれている戦闘でエジプト軍は敗れ、シリア・パレスチナ地域の支配権はバビロンに移っていきました。

ヨシヤが進軍するネコのじゃまにはいった理由は分かっていませんが、アッシリアの支援を快く思わなかったからだとも言われています。返す返すも残念な戦士でした。

ななめ聖書 先週のこたえ

る	ひ	つ	を	み	じ	け	す	い
み	け	を	い	す	つ	ひ	じ	る
い	す	じ	る	ひ	け	つ	み	を
さ	じ	る	ひ	つ	み	い	け	す
ひ	い	み	け	る	す	じ	を	つ
け	つ	す	じ	い	を	み	る	ひ
じ	み	い	つ	を	る	す	ひ	け
つ	を	け	す	じ	ひ	る	い	み
す	る	ひ	み	け	い	を	つ	じ





伝道者パウロの生涯　１７２

＊本文を開きながら見ましょう。

ローマに向かうパウロ

「こうして、私は祭司長たちから権限を委任されて、ダマスコに向かったのですが、その途中、真昼のことです。王よ、私は、天からの光を見たのです。

それは太陽より明るく輝いて、私とまた同行していた者との周りを照らしました。

私たちが皆地に倒れたとき、『サウル、サウル、なぜ、私を迫害するのか。突き棒を蹴ると痛い目に遭うものだ』と、私にヘブライ語で語りかける声を聞きました。」

(使徒言行録26:12～14)



フェストゥスとアグリッパの前で

【証しと御言葉】

救いの証しをする場合、最も大切な事は主イエスからどのように語られたかです。パウロは主イエスから直接語られたといっており、この箇所ではその内容が詳細に記されています。パウロも強調しているのですが、大切なことは、主イエスに会ったことよりも、語られた言葉が重要です。

神の言葉は「生ける言葉」であり、神のご自身がそこに存在しています。また、それは神と私たちとの契約であり、永遠に変わることなく、私たちの心に刻まれるものです。そのため、もし、その御言葉がなければ、信仰が揺さぶられた時に、御言葉が伴わないとただの体験でしかありませんから、その回心の起点があいまいになり、自分は救われたのだろうかとの疑念を生じてしまうことがあるのです。

つまり、私たちの救いは、信仰をもったその時に握った御言葉が最も重要なのです。それは神ご自身から語られた言葉であり、また神そのものであり、そして神からの契約です。ですから、御言葉の語られない証しは、証しではなく、ただのスピーチと変わりないといってもよいでしょう。

たとえば、モーセは神の山ホレブで神と出会いました。その時、神はモーセに「『私はいる』という者だ」と語られています。つまり、「私はあなたと共にいる」「あなたを祝福する」との約束の言葉をかけてくださった、それがモーセが荒れ野の40年、民たちを率いる力となりました(出エジプト3章)。

私たちの信仰生活には、さまざまな恵みの場面が訪れます。その際、必ず御言葉が伴います。その御言葉を記念の石のように建てていくことにより、いつでもその恵みを証しすることができ、また振り返ることによって、恵を思い返すことも、またこれからなされていく御業を期待することができるようにされるのです。

【突き棒を蹴る】

突き棒とは、家畜、特に牛を動かし、畑を耕すために使った先のとがった棒を言います。当時は牛に土を耕す器具をつけて引かせていたのですが、牛が進まない時には突き棒でつついて前進するように促すわけです。ところが、時々牛が嫌がって、蹴り返すことがあったようで、でも、それをやったら、その突き棒が当たってささってしまう、そのような様子を見て、できたことわざを引用されたのだと考えられます。

アニメなどで、八つ当たり気味に柱を殴り、自分が痛い思いをするというシーンを見かけることがあります。「ばかだなあと」思いながら苦笑する、そんな時の同じような感情が「突き棒」のたとえにはあるように思います。愚かだぞというわけです。「ばちがあたる」とは少し違います。

【ヘブライ語で語った】

ここでわざわざ「ヘブライ語で語った」と説明しているのは、使徒言行録がギリシア語で書かれているため、誤解しないように配慮したからだと思われます。当時はヘブライ語と言っても、日常生活で使われていたのはアラム語です。「タリタ・クム」(マルコ5:41)、「エッファタ」(マルコ7:34)、「エロイ・エロイ・レマ・サバクタニ」(マルコ15:34)など、主イエスが語られたとされる場面で使われている言語はアラム語なので、ここでも同様だと思います。ヘブライ語は宗教的な場面で使われたとされています。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。
　必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。
◆礼拝とは何ですか。
　私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。
◆献金とは何ですか。
　神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。
◆聖餐式とは何ですか。
　信仰告白をし、洗礼 (バプテスマ) を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別されたパンとぶどう液をいただきます。
◆信者になるにはどうしたらいいですか。
　自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員 (信者) と呼ばれます。
◆キリスト教会は様々な教派があります。
　大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。
◆にせのキリスト教会がありますか。
　キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

２０２６年教会暦・年間行事

(＃はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら１年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

＊＊＊顕現節 (1/6 ～ #2/17) ＊＊＊

降誕日 (12/25) から 12 日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日 (1/6) から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日 (#2/15) として守ります。

＊＊＊四旬節 (#2/18 ～ #3/28) ＊＊＊

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式 (この教会では行いません)、灰の水曜日 (#2/18) から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの 40 日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週 (#3/29 ～ 4/4) は、主イエスの最後の１週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日 (#3/29) から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日 (#4/2)、十字架にかかられた受苦日 (#4/3) と過ごしていきます。

＊＊＊復活節 (#4/5 ～ #5/23) ＊＊＊

キリストが死にかって復活されたことを祝うイースター (復活日・#4/5) から始まります。春分の日の後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40 日後のキリストの昇天 (#5/14) を迎えたのち、復活節の最終主日 (昇天主日 #5/17) となります。

＊＊＊聖霊降臨節 (#5/24 ～ #11/28) ＊＊＊

復活日から 50 日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日 (ペンテコステ・#5/24) から始まり、三位一体主日 (#5/31) では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

＊＊＊待降節 (#11/29 ～ 12/24) ＊＊＊

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント (待降節) は、11 月 30 日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは 12 月 25 日ですが、クリスマス礼拝 (#12/20) は、25 日以前の日曜日を選んでささげています。

＊＊＊降誕節 (12/25 ～ 1/5) ＊＊＊

イエス・キリストの誕生を祝う日 (12/25) から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】
母の日 (5/10・5 月第二)
ウェスレー回心記念日 (5/24・1738 年)
花の日 (子どもの日・6/14・6 月第二)
父の日 (6/21・6 月第三)
ホーリネス弾圧記念日 (6/26・1942 年)
宗教改革記念日 (10/31・1517 年)
収穫感謝日 (11/22・11 月第四)

【当教会行事】
新年元旦礼拝 (1 月 1 日・木)
成人祝福礼拝 (#1/11・1 月第二)
聖書愛読週間 (#3/22 ～ 28)
みふみの日 (3 月 23 日)
教会創立記念礼拝 (3 月最終主日 / 創立記念日 3/29)
最後の晩餐集会 (#4 月 2 日夕)
召天者記念合同礼拝 (#6/14・6 月第二)
弾圧記念礼拝 (#6 月 28 日・26 日前後の主日)
石出忠師記念礼拝 (#7 月 5 日・7 月第一)
敬老祝福礼拝 (#9/13・9 月第三)
子ども祝福礼拝 (#11/1・１１月第一)
クリスマスイブ礼拝 (12 月 24 日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト (青山学院、東北学院など) の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が１９０１年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。２０２２年3月２７日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書６６巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A．B．シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒 (しんゆ)、再臨 (さいりん) の４項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆新生　キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わること。これにより、天に住まう者のように、日々に喜びが与えられる。（コリントの信徒への手紙二 5:17 など）

◆聖化　神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。（ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ～ 20 など）

◆神癒 (しんゆ)　肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。（出エジプト記 15:26 など）

◆再臨 (栄化)　キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。（コリントの信徒への手紙一 15:51 など）

教会の信条

相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約３年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかられ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

①キリストによる完全な救い
②真心からささげる礼拝
③キリストをかしらとした教会の交わり
④神の憐れみによるいやしと慰め
⑤信仰生活がもたらす祝福
⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会　創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦　牧師 石出 佳代子　牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3
TEL&FAX 042(772)8910　e-mail church@bethels.info

ホームページ　http://www.bethels.info/